「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

対策メニュー名	照明制御機能（タイマー、センサー等）の追加	シート番号	A21022
システム・設備	照明設備	6 類型	部分更新・機能付加
削減余地順位	全体：28 位　産業部門：43 位　業務部門：25 位		

診断結果と対策提案実施の状況（診断結果は H28～R2 年度診断分、提案実施状況は H28～H31 年度診断分）

表 1．診断結果（対策の削減余地・診断時の提案率）　　▶ 削減余地の大きい 5 業種（診断件数 20 以上）

	全体	産業部門	業務部門	76 飲食店	75 宿泊業	60 その他小売業	83 医療業	85 社会保険等の事業
削減余地 [千 t-CO_2]	1,064	163	901	141	127	97	69	62
診断件数	3,303	1,216	2,087	46	215	33	179	484
診断時提案数	388	48	340	5	27	4	15	59
診断時提案率	12[%]	4[%]	16[%]	11[%]	13[%]	12[%]	8[%]	12[%]

表 2．対策提案の実施状況

	全体	産業部門	業務部門	76 飲食店	75 宿泊業	60 その他小売業	83 医療業	85 社会保険等の事業
事業報告書提案数	337	41	296	5	23	4	15	54
事業報告書実施数	45	4	41	1	6	0	0	8
事業報告書実施率	13[%]	10[%]	14[%]	20[%]	26[%]	0[%]	0[%]	15[%]

表 3．実施された対策の内容

	項目		最大値	中央値	最小値	平均値
提案・実施内容	CO_2 削減量	[t-CO_2/年]	15.1	0.8	0.05	2.3
	導入コスト	[千円]	1,550	192	0	484
	運転コスト削減	[千円/年]	632.2	34.0	1.5	84.3
	投資回収年数	[年]	75.5	8.1	0.4	11.1
	事業所 CO_2 削減割合	[%]	5.1	0.2	0.005	0.5

表 4．提案された対策の実施理由・未実施理由

実施理由	初期費用が安かったため	6	実施理由の 6 割以上が、「省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため」となっている。
	補助金を活用できたため	6	
	投資回収年数が短いため	1	
	省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため	28	
	その他　（無回答を含まず）	0	
未実施理由	初期費用が高かったため	27	未実施理由の 3 割が「初期費用が高かったため」、もう 3 割が「投資回収年数が長かったため」となっている。
	提案された設備の機能や運用に懸念	2	
	補助金を活用できなかったため	5	
	投資回収年数が長かったため	25	
	省エネ効果の根拠が不明で確実性がなかったため	8	
	既存設備がまだ使えたため	15	
	対策実施により事業所の操業に影響が生じるため	6	
	その他　（無回答を含まず）	27	

表 5．同時に実施されることが多い対策

同時実施の順位	メニュー番号	対策メニュー名	同じ大分類
1	21031	LED 照明の導入	○
2	11135	高効率パッケージエアコンの導入（老朽化更新を含む）	
3	21011	不要箇所・不要時間帯の消灯	○

※ 特記事項 実施された対策について（表 3）

(1) CO_2 削減量の最大例は規模を縮小実施しており、提案通りに実施した事例における最大削減量は 8.0[t-CO_2/年]である。なお、後者は事業所削減割合の最大例でもある。

(2) 導入コストの最大例は、階段灯を人感センサー付階段灯に更新することを提案した。導入コストの最小例は、既設 LED 照明の調光機能を活用して支障のない範囲内で 75[%]まで調光することを提案した。

(3) 投資回収年数の最大例は、全館のトイレ照明に人感センサーを導入して、電気使用量を 20[%]削減することを提案した。投資回収年数の最小例は、作業室の照明に人感センサーを取り付けて作業終了後の消し忘れを防止することを提案した。